

## 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月28日

計画の名称	古河駅東部地区における土地区画整理事業による健全な市街地形成											
計画の期間	令和02年度～令和06年度(5年間)											
交付対象	古河市											
計画の目標	本地区は、古河地区と総和地区の接点に位置し、両市街地を連携する重要な地区である。近年は周辺の宅地化に伴い、一級河川向堀川の氾濫による水害の多発、国道125号などの幹線道路の交通混雑などにより、都市基盤整備の遅れが顕著な地区となっている。よって、本事業により都市基盤施設整備を行い、宅地利用増進、治水対策、公園整備による憩いの場等の創出による健全な市街地の形成を目指すものである。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,552	A	1,550	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.12%

番号	計画の成果目標(定量的指標) 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2	R4	R6
1	土地区画整理事業による公園整備により、公園誘致距離内における定住者を3,800人(R2当初)から4,100人(R6末)に増加 事業対象となる公園の誘致距離内における定住者 (公園誘致距離内の定住者人口) = 誘致距離内の宅地件数 × 平均世帯人数	3800人	3950人	4100人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																							
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況				
		一體的に実施することにより期待される効果																					
		備考																					
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	古河市	直接	古河市	-	-	都市再生区画整理事業（ 古河駅東部地区）	古河駅東部地区 A = 84.7ha	古河市						1,550		未策定				
																		1,550					

## C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一體的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	C13-001	市街地	一般	古河市	直接	古河市	-	-	防犯灯整備事業	防犯灯の設置	古河市						2		-
公園誘致距離内の道路に防犯灯を設置することで、公園利用者の安全性を高める。																			

## 事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事業策定主体(古河市区画整理課)にて評価を実施
	事後評価の実施時期 令和7年度
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	本事業の都市基盤施設整備により、地区内の使用収益開始面積が増加し、良好な市街地の形成が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	地区内における調整池や水路等の施設整備により、水害リスクの軽減効果が発現している。
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き本事業により都市基盤施設整備を実施し、健全な市街地の形成を図っていく。	

目標値の達成状況				
番号	指標（略称）			
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因		
1	公園誘致距離内における定住者の増加			
	最終目標値	4100人	計画目標では、公園整備により公園誘致距離内における定住者を増加するとしていたが、宅地として造成工事が完了した画地数は目標値の120画地に対して実績値40画地にとどまり、公園誘致距離内における定住者数増加の目標値達成には至らなかった。	
	最終実績値	3900人		